

I 第25週の発生動向 (2014/6/16~6/22)

1. インフルエンザについては、患者報告数は2人で、迅速診断キットによる型別はA型2人でした。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の172人から158人に減少しました。
3. 水痘については、むつ保健所管内で注意報が解除されました。
4. 無菌性髄膜炎については、五所川原保健所管内で第18週より局所的な発生が継続しており、今後の動向に要注意です (X 基幹定点把握疾患週別推移参照)。

II 第25週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科	(90)	インフルエンザ							2	0.2			2	0.0	2					
	(79)	RSウイルス感染症													0					
	(80)	咽頭結膜熱	3	0.4	1	0.1	3	0.3	2	0.4		1	0.3	10	0.2	-1		3	0.4	
	(81)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.4	7	0.8	25	2.5	1	0.2	5	0.8	4	1.0	45	1.1	-3		3	0.4
	(82)	感染性胃腸炎	44	5.5	14	1.6	31	3.1	14	2.8	20	3.3	35	8.8	158	3.8	-14		44	5.5
	(83)	水痘	8	1.0	2	0.2	5	0.5			4	0.7	2	0.5	21	0.5	-43		8	1.0
	(84)	手足口病			1	0.1			1	0.2					2	0.1	-2			
	(85)	伝染性紅斑	11	1.4	4	0.4	5	0.5						20	0.5	6		11	1.4	
	(86)	突発性発疹	4	0.5	2	0.2	5	0.5	2	0.4	3	0.5	2	0.5	18	0.4	-2		4	0.5
	(87)	百日咳								1	0.2			1	0.0	1				
	(88)	ヘルパンギーナ			4	0.4						1	0.3	5	0.1	1				
	(89)	流行性耳下腺炎	1	0.1	2	0.2	1	0.1				4	1.0	8	0.2	-4		1	0.1	
眼科	(91)	急性出血性結膜炎													0					
	(92)	流行性角結膜炎	1	0.5			1	0.5	1	1.0	3	1.5			6	0.6	-5		1	0.5
	(97)	クラミジア肺炎													0					
基幹	(98)	細菌性髄膜炎								1	1.0			1	0.2	1				
	(100)	マイコプラズマ肺炎				1	1.0					3	3.0	4	0.7	-3				
	(101)	無菌性髄膜炎						6	6.0					6	1.0	-2				
	(82)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)													-13					

は警報、 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市 3人 (2014年計:150人)
- (61) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 八戸 1人 (2014年計:6人)

IV 病原体検出情報

()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・無菌性髄膜炎患者(髄液、5/30~6/14)・・・エコーウイルス30型: 五所川原 (9)
- ・突発性発疹患者(咽頭ぬぐい液、4/4~4/21)・・・エコーウイルス6型: 弘前 (1)、HHV7: 弘前 (2)
- ・川崎病疑い患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、ふん便、4/29~5/1)・・・ライノウイルス: 八戸 (1)、弘前 (1)

感染症の窓

無菌性髄膜炎

(五類定点把握疾患)

無菌性髄膜炎は、エンテロウイルスを中心とした病原体の感染による髄膜炎の感染症で、初夏から増加し始め、夏から秋にかけて流行します。

症状としては発熱、頭痛、嘔吐を主な特徴とします。

感染症法では五類定点把握疾患に分類され、基幹定点医療機関の週単位の報告対象となっています。本県では、基幹定点(患者を300人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの))を、各二次医療圏毎に1カ所指定しています。

本県における患者報告数は、2012年は2人、2013年は1人でしたが、2014年は第24週現在で19人の報告があり、例年と比較して多くの発生がみられ、また、定点当たり報告数についても全国をかなり上回った状況で推移しています(図1)。好発年齢は乳幼児~学童期ですが、本県でも学童期が大半を占めています(図2)。また、19人中18人が同一保健所管内での発生で、今後の発生動向に要注意です。

これまでに無菌性髄膜炎患者(疑い含む)16名の検査をしたところ、13名からエコーウイルス30型が検出されています(H26.6.26現在)。

感染経路はエンテロウイルスの場合、通常、糞口感染、飛沫感染ですので、予防のためには、手洗いのほか、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。

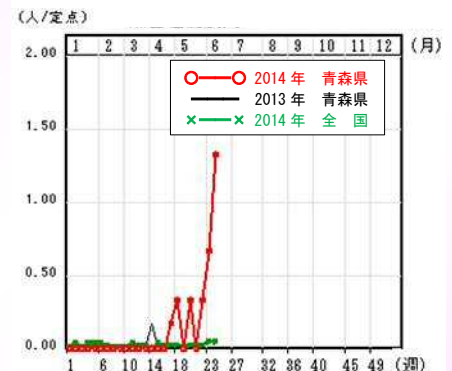


図1 2014年 週別推移

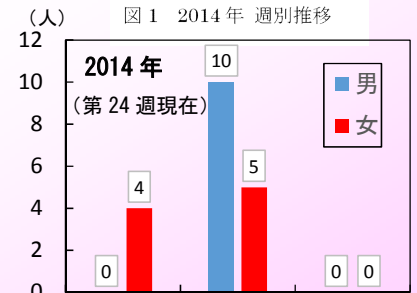


図2 性別・年齢別報告数(青森県)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第9週～第25週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
9	H26.2.24 ~ H26.3.2						
10	H26.3.3 ~ H26.3.9						
11	H26.3.10 ~ H26.3.16		急性脳炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	急性脳炎1人			
12	H26.3.17 ~ H26.3.23		アメーバ赤痢1人				
13	H26.3.24 ~ H26.3.30						
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	アメーバ赤痢1人					
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第15週～第25週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	1	2			1	
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	2	4	2	2	1	1
17	H26.4.21 ~ H26.4.27	2	1	2	3		
18	H26.4.28 ~ H26.5.4	1		4			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11	1					
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		1	2	1		
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第23週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類		
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオテラ症	重症熱性血小板減少症候群	チクンゴニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	
累積報告数	10390	43	485	19	6	64	350	4	6	1	1	15	5	77	69	39	4	1	25	408	6	459	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パノマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん							
累積報告数	111	216	9	70	113	595	30	95	17	977	8	630	45	24	210	368							

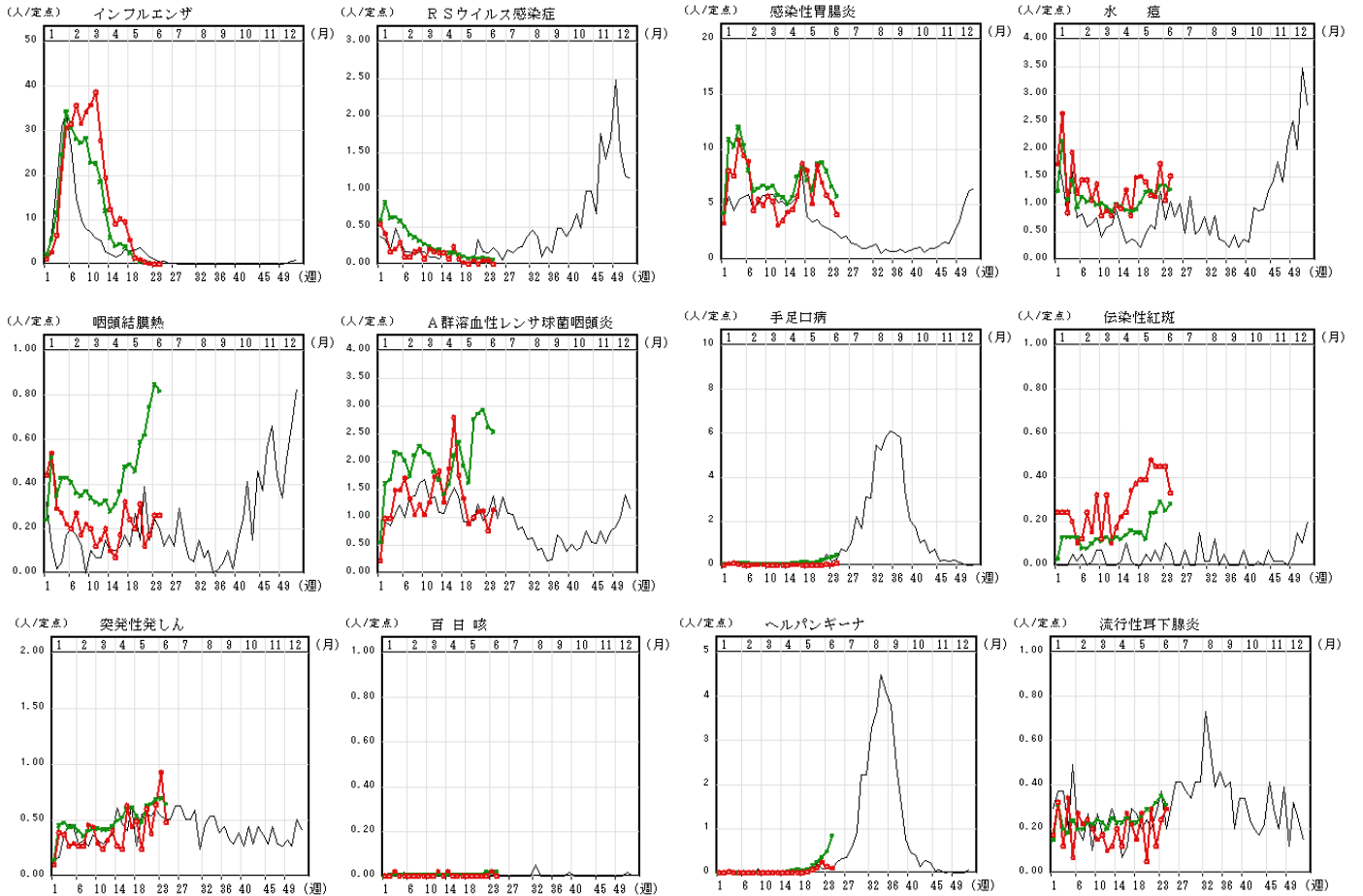
青森県

(2014年第1週～6月23日16:30累計)

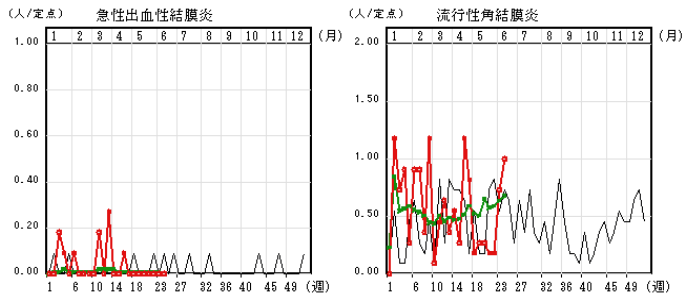
分類	二類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風
累積報告数	150	1	1	7	2	6	8	1	2	5	3	1

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第24週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第24週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第24週)

